

令和6年度中国・四国地区国立大学法人等オープンセミナー

国立大学法人徳島大学

徳島大学総務部人事課



徳島大学の理念及び INDIGO宣言について

徳島大学の理念

【理念】

国立大学法人徳島大学は、自主と自律の精神に基づき、
真理の探究と知の創造に努め、卓越した学術及び文化を継
承し向上させ、世界に開かれた大学として、
豊かで健全な未来社会の実現に貢献します。

深く輝く、未来を紡ぐ大学へ

世界はかつてない速度で変貌を続けており、超スマート社会Society5.0への期待が高まる一方で、少子高齢化の加速、自然環境の悪化や感染症の拡大など、多くの不安が未来に影を落としています。このような複雑で高度な課題の解決に必要なとされる人材を育成し、徳島県に位置する高等教育機関としてあるべき姿を展望するため、「INDIGO宣言」を策定しました。これは、徳島大学が育成する人物像や目指す方向性を、学内外に向けて示したものであり、徳島大学の学生や教職員が進むべき路を選択するとき、徳島大学がどこに向かうかを問われたとき、「INDIGO宣言」がその指針となります。

かつて阿波の藍(INDIGO)は、品質向上への誠実な取り組みにより日本全国を席卷し、徳島(阿波)は、全国有数の都市を有する地域として繁栄しました。深く輝く藍色は世界の人々に「ジャパンブルー」と称され、我が国を代表する色として愛されてきました。加えて、防虫性、耐水性、薬効など、藍は多様な機能で人々の生活を豊かにし、社会の発展に貢献してきました。

そんな藍の染色では、さまざまな物質が共生する藍染(あいがめ)に生地を浸けてから外気にさらす工程を繰り返すことで、鮮やかな藍色があらわれます。これは徳島大学が目指す人材育成そのものです。多様なヒト、モノ、コトが行き交う中で学内外との交流を繰り返して人材が成長し、幅広い能力で社会に貢献する。本学はそのような学びの場でありたいと願います。

このような思いを込めた「INDIGO宣言」ですが、社会を取り巻く状況は時々刻々と変わり、より高次の夢が生まれる時代も来るはず。その際は、臨機応変に宣言内容を再構築するべく、皆さまの建設的かつ徳島大学愛あふれるご意見を賜りますようお願い申し上げます。



徳島大学長
河村 保彦

「INDIGO宣言」

未来社会を照らす誠実で高潔な人格、地球規模の課題に立ち向かう斬新な発想と力強さ、この両者を身につけるための教育研究の場を提供し、社会の要請に応え続けます。

そして再び、ノーベル賞受賞者を輩出したいと願います。

性別、年齢、国籍、価値観などの多様性を前提に、誰も取り残すことなく受け入れて、学生や教職員の地力を最大限引き出せる大学運営を行います。

「地球視点で考え、徳島発で行動する」大学として世界との交流を進め、教育研究に関する成果や課題を学内外と共有することで知の融合反応を促進し、「深く輝く、未来を紡ぐ大学」を目指します。

INDIGO

Integrity (誠実さ) Noble and Novel (高潔さと斬新さ) Dynamism and Diversity (活力と多様性) Inclusive (寛容) Global (世界へ発信) Open (開かれた徳島大学)



徳島大学VISIONの骨子

今後は、このINDIGO宣言に基づいた戦略・目標・計画である「徳島大学VISION」を策定し、大学一丸となって進んでいきます。



目指す職員像と 求める能力・知識

〈目指す職員像〉

- (1) 大学職員としての自覚及び使命感を持ち職務を誠実に遂行する職員
- (2) 説明責任を果たせる職員
- (3) 広い視野と柔軟な発想を持ち多様な価値観に対応できる職員
- (4) 専門的資質を備える職員
- (5) 時代の流れを読み新たな課題に積極的に取り組む職員

〈求める能力・知識〉

- (1) 構成員としての自覚, 倫理観
- (2) コミュニケーション能力, 折衝・交渉力
- (3) 柔軟な発想, 判断力
- (4) 職務に対する専門的知識
- (5) 経営コスト意識
- (6) 新たな課題の解決に向けた企画立案能力
- (7) リーダーシップ, 指導・育成能力



徳島大学の概要と 事務組織について

徳島大学

常三島地区

蔵本地区

新蔵地区

学 部

総合科学部

理工学部

生物資源産業学部

大 学 院

創成科学研究科

学 部

医 学 部

歯 学 部

薬 学 部

大 学 院

医学研究科

口腔科学研究科

薬学研究科

医科栄養学研究科

保健科学研究科

事 務 局

学 生 数:約7,400名

教職員数:約3,000名

事務職員数:約350名

常三島キャンパス

学部：総合科学部
理工学部
生物資源産業学部

大学院：創成科学研究科

附属施設等

附属図書館
キャンパスライフ健康支援センター
環境防災研究センター 情報センター 等



常三島キャンパス

地域創生課

地域連携関連業務，
公開講座や講演会の企画 等

各学部学務係，学務部 等

時間割・シラバスの作成，
履修登録処理，学生対応 等

国際課

国際交流に係る企画・立案
留学生の受入・派遣 等

学生支援課

就職支援，課外活動支援，
授業料免除業務 等

学術情報部

附属図書館所蔵の図書管理，
事務情報システムの管理 等

財務部会計課 等

物品等の調達，授業料収入の管理 等

各学部総務係 等

教授会の運営，勤怠管理 等

常三島研究・産学支援課

科研費申請補助，共同研究等の実施補助 等



蔵本キャンパス

学部： 医学部

大学院： 医学研究科
医科栄養学研究科
保健科学研究科

学部： 歯学部

大学院： 口腔科学研究科

学部： 薬学部

大学院： 薬学研究科

病 院

附 属 施 設 等

先端酵素学研究所

AWAサポートセンター 等



蔵本キャンパス

総務系

学務系

財務・会計系

研究推進

病院経営企画課

病院予算の管理, 施設整備 等

病院経理調達課

医療機器・医薬品の購入 等

病院医事課

診療報酬の請求事務
診療の労務安全管理, 患者支援 等

新蔵地区(事務局本部)

総務系

秘書課

役員会等会議の開催, 学長等の秘書業務 等

経営戦略課

経営戦略等の策定に係る企画立案, 大学の
中期目標・中期計画の作成 等

総務課

事務の総括及び連絡調整, 諸行事の開催 等

人事課

職員の採用, 福利厚生 等

未来創造課

広報, 全学同窓会関連業務 等

財務・会計系

財務課

大学全体の予算編成 等

資産管理課

大学資産の管理 等

学務系

入試課

入学試験業務, 入試広報 等

研究推進

研究・産学企画課

科研費申請補助,
共同研究等の実施補助 等

その他

監査室, IR室

組織の監査, 情報収集・分析 等

大学職員の仕事





勤務条件・福利厚生・研修制度について

勤務条件・福利厚生 — 労働時間・休暇 —

労働時間：8時30分 ～ 17時15分（7時間45分／日）

休憩時間：12時00分 ～ 13時00分

休日

- 土曜日・日曜日（完全週休二日制）
- 祝日・休日
- 年末年始（12／29～1／3）

有給休暇

- 年次有給休暇：年間20日（年途中で採用された場合はその期間に応じた日数）
（例）4／1採用者の場合、その年は15日
- 病気休暇：病気やケガの療養のため、必要と認められる期間を休むときに利用
- 特別休暇：夏季休暇、結婚休暇、産前・産後休暇、忌引休暇 等

育児休業 ・ 介護休業 等



勤務条件・福利厚生 ー人事異動・出向ー

人事異動

採用時：欠員状況・本人の適性などを考慮し、決定

配置換：おおむね3年毎（本人の希望・適性・職務経験などを総合的に勘案）

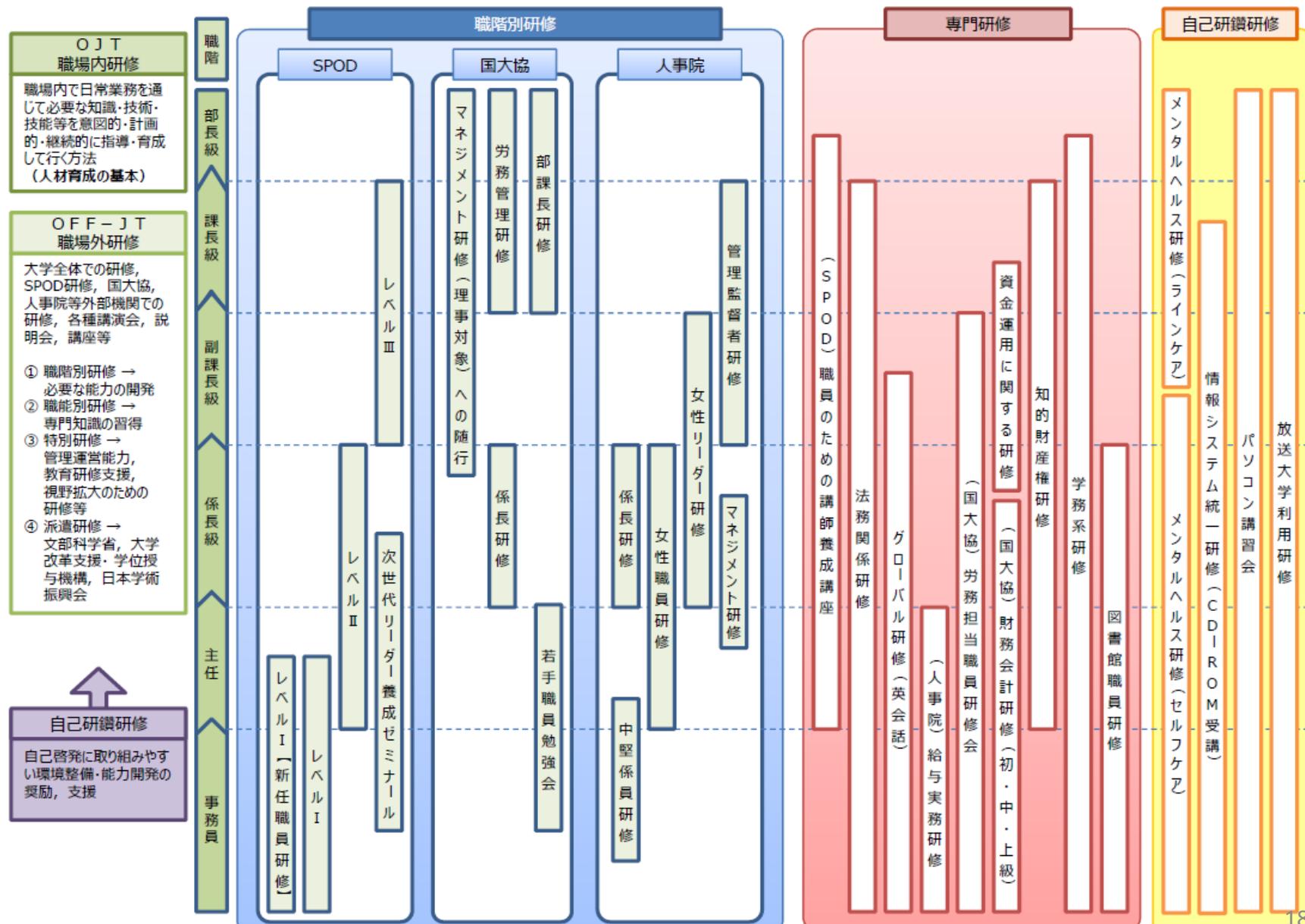
昇 進

勤務や経験を積みながら幅広い知識を培い、勤務成績などにより、主任、係長、副課長、課長などの管理職に昇進します。

- 鳴門教育大学・阿南工業高等専門学校に異動する可能性あり

— 研修制度 —

徳島大学事務職員の研修体系



勤務条件・福利厚生

— 給与・諸手当, 福利・厚生 —

給与※

初任給：学歴や採用前の職歴に応じて決定（約19万円～22万円程度）

昇給：一年間の勤務成績に応じて昇給

手当等※

諸手当：通勤手当, 住居手当, 扶養手当, 時間外勤務手当等

賞与：6月と12月の年2回支給

※本学就業規則が適用されます。

福利・厚生

- 文部科学省共済組合
病気・出産・災害等の際の給付制度、団体積立終身保険事業 等
- 労働災害補償制度
業務上及び通勤途中の災害に関する補償制度
- 宿舎
単身用及び世帯用の宿舎（八万町, 新浜町）

職員になるためには

国立大学法人等職員統一採用試験 を受験

◆ 受験資格

平成6年4月2日以降に生まれた者

※生年月日以外の受験資格については、
Webサイトでご確認ください。

◆ 試験の方法・内容

➤ 第一次試験

教養試験・・・Webサイトに例題あり

➤ 第二次試験

各国立大学法人等で面接考査等

選考スケジュール(令和5年度の例)

